

塩尻市 東山霊園

「合葬墓」建設へ

市会全協で方針

塩尻市は13日の市議会全員協議会で、市営東山霊園(旧塩尻)内に、共同で利用する墓

「合葬墓」を設ける方針を示した。墓を管理する子どもがいない人などの要望に応える狙い。2016年度中に建設し、17年度から希望者を募る。

現在は花壇や植え込みになつている場所に、鉄筋コンクリート平屋約21平方メートルの建物

数が過ぎたら地下に散骨する予定だが、希望に応じ最初から地下へ散骨することもできる。将来の需要に備え、ロッカーを増やせるように場所を確保した。建設費は2200万円を見込む。

生活環境課によると、東山霊園には現在2061区画があり、1999区画に使用者がいる。一方、市が使用者に対して13年に行ったアンケートでは、合葬墓があれば区画の返還を検討したいとする人が134人いた。返還を促し、使用可能な区画を増やす狙いもある。料金や運営方式などは今後、詰めるとしている。